

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/12/2

Albirex-RT

スーパーFJ 日本一決定戦

太田選手 東日本勢トップとなる4位入賞！！



12月2日(日) 予選・決勝

1 LAP=4.801km

出走：34 台

天候：曇 コース：ドライ

気温：8℃ 湿度：26% 路温：9℃

ドライバー：

佐藤 祐希 (アルビ RT うちざわ接骨院 EDKK-S #34)・・・B グループ

湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #35)・・・A グループ

太田 達也 (玉三郎 ED アルビ RT 岩本商会西風 10V #36)・・・B グループ

決勝結果：佐藤選手 リタイヤ 湊選手 13 位

太田選手 4 位入賞

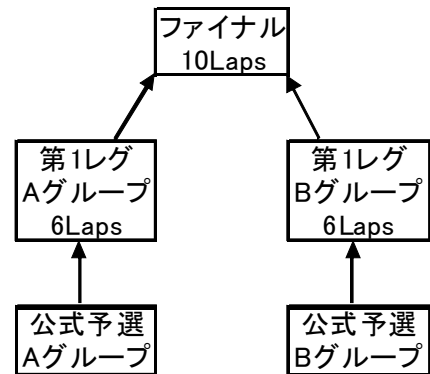
11/18（日）のJAFグランプリ フォーミュラ・ニッポンで大嶋選手が着用したレーシングスーツで挑んだ太田選手。チーム最高となる日本一決定戦4位入賞を達成！！

■12月2日（日） 予選（20minutes）

5番手でコースインした湊選手。まずは9番手タイムをマークすると順調にタイムを縮めていき、20分の予選のうち半分が経過した頃には7番手まで浮上。しかしその後はタイムが伸び悩み、12番手まで後退。すると時間的に残り2周というところで続けざまにタイムを短縮。10番手で第1レグを迎える。

Bグループの予選は太田選手、佐藤選手の順でピット

ロードへ。コースオープン後、しばらくは真ん中前 2012 スーパーFJ 日本一決定戦の流れ後のタイムをマークしていた太田選手だが、予選の半分が過ぎたところで4番手に浮上。佐藤選手も9番手タイムをマークする。しかしその後佐藤選手はタイム更新ならず、太田選手も最後にベストラップを更新したものの、わずか0.061秒届かず4番手となった。



■12月2日（日） 第一レグ（6Laps）

予選に引き続きAグループからとなる。湊選手はスタートを見事に決め1台パス。そのまま1コーナーに進入、コーナーを抜け立ち上がっていったところ、バランスを崩しかけた前車の右リヤと接触。湊選手のフロントウイングが変形するほどのダメージを受けてしまう。その後はピットインせず懸命の走行を続けるもペースは上がらず、12番手チェッカーとなった。

Bグループは4番グリッドスタートの太田選手がスタート直後に1台パス。1コーナーを抜けていくが、すぐ先の3コーナーでオーバーラン。半車身ほどグラベルに飛び出してしまい順位を落としてしまう。その後のダウンヒルストレート後の90度コーナーでも再びコースオフ。オープニングラップ終了時には9番手までポジションを落としてしまう。

2周目、1台パスして8番手に浮上すると、後半は5位争いのグループに加わっていく。前車よりもペースで上回る太田選手は激しいプッシュを続けるが、パスまでには至らずファイナルラップへ。そして最後のホームストレートの立ち上がりで横に並びオーバーテイクを試みるも、0.071秒差で8位チェッカーとなった。

9番手スタートの佐藤選手は他車のコースオフのあおりを受け接触、ポジションを15番手まで落としてしまう。しかしその後も懸命に走行を続け、ダウンヒルストレートでアウト側から1台オーバーテイクすると、同じくダウンヒルで今度はインを刺し13番手に浮上。

12 位の車両に攻勢をかけるも 0.093 秒及ばず 13 位でフィニッシュ。

規定（※）によりファイナルは太田選手が 15 番グリッド、湊選手・佐藤選手がそれぞれ 24、25 番グリッドでスタートとなる。

※ファイナルのグリッドは各第 1 レグのトップ車両のレース時間（トータルタイム）を比較し、速いほうのグループのトップ車両をポールポジションとし、そのグループを左側のグリッドとする（大会特別規則第 20 条①2）による）。第 1 レグは B グループのトップ車両のほうが速かったため、B グループの選手が左側グリッド＝奇数グリッドとなった。

■12 月 2 日（日） ファイナル(10Laps)

マシンがグリッドにそろい、14 時 55 分フォーメーションラップ開始。全車 1 周して再びグリッドにつこうとしたところで、3 番グリッドの車両がスローダウンしたままコース外へ。そのまま止まってしまう。そのまま車両が回収され、3 番グリッドが空いたままでのスタートとなる。

シグナルブラックアウト。全 34 台がいっせいにスタートする中、1 コーナーへの進入の際に上位陣で 2 台が絡むクラッシュが発生。1 台がウォールに激突し大破する一大事故となる。その混乱も収まらないうちに今度は 3 コーナーでも接触事故が発生。2 台がコース脇に止まってしまう。スタート前と合わせてこれで合計 5 台がリタイヤとなるが、いずれもスターティンググリッドのトップから 14 番手までの車両であり、アルビレックスレーシングチームとしては上位進出へのチャンスがより大きなものとなる。

そしてこの混乱の中、太田選手は 15 番手スタートから一気に入賞圏内の 6 番手まで浮上。勢いに乗りたいたいところだったが、5 番手までのトップ集団とはまだ距離があり差がついてしまう。しかし、オープニングラップ後半、1 コーナーのクラッシュ車両回収のためにセーフティカーが導入される。これにより太田選手は先頭集団との差をなくすことに成功する。

セーフティカーが解除され、リスタートした 4 周目。太田選手はしっかりと前車をマークして走行すると、6 周目、1 コーナーでインを制して 1 台パス。5 番手に浮上する。さらに前車との差を詰め、7 周経過で 4 番手とは約 0.5 秒差で迎えた 8 周目、S 字コーナーでついかわして 4 番手にポジションアップ。しかしパスした車両も激しい追い上げを見せ、直後のダウンヒルストレートでその車両が再び前に出てしまう。太田選手も 90 度コーナーの立ち上がりまで必死に喰らい付くがポジションを奪われ 5 番手に後退。

その後は少しずつ離されていき、最後は後方 6 番手車両からプレッシャーを受けるもそのまま逃げ切り 5 番手でチェッカーフラッグとなった。

湊選手はスタート直後の 2 回のクラッシュのあおりを受けることなく 18 番手までポジションアップ。セーフティカー解除後の 5 周目に 1 台パスすると、翌周は 2 台パスするなど、1 周に 1 台のペースで着実にポジションを上げていき 13 位チェッカー。

佐藤選手はトランスミッションにトラブルを抱えてしまいセーフティカー導入時に緊急

ピットイン。そのままリタイヤとなった。

レース終了後、2 番チェッカーの車両がセーフティカー中の追い越しにより 20 秒加算のペナルティが課され、太田選手が繰り上がりで 4 位入賞が正式結果となった。

○佐藤選手コメント

今年はいろいろ学ぶことができました。結果は残念でしたが周りの人に恵まれて楽しいレースでした。チームの皆さんには自分のために教えてもらったり、メンテナンスや整備してくれて 1 年間ありがとうございました。ふがいない成績で悔いが残っているので来年こそはがんばりたいと思います。

○湊選手コメント

第 1 レグの接触が痛かったです。ただ、決勝で大きく順位を上げることができたのでそこは良かったと思います。今年 1 年たくさんの方のご協力のおかげで参戦することができました。ありがとうございました。チームのみなさんにも 1 年間しっかりサポートしてもらって感謝しています。ありがとうございました。

○太田選手コメント

第 1 レグのスタートは決まったんですが 3 コーナーでのミスで大きく順位を落としたのが悔しかったです。決勝は 15 番手から 4 位まで上がったのは良かったです。今年 1 年優勝できなかったのは心残りですが、アルビ RT 初のスーパー F J 表彰台を取れたので良かったです。最後にチームのみなさん、今年 1 年ありがとうございました。来年はシリーズチャンピオンをとれるように頑張ります。



○中村監督コメント

佐藤選手は車両変更してからのこの 3 日間、よい流れでくることができました。本人は運転のところで悩んでいたと思いますが、すぐ対応して修正できたので能力が上がったと思います。土曜日のウェット路面では非常にいい流れのタイムを出していたので来年につながるような技術を習得したと思います。決勝はマシントラブルでしたので非常に残念です。来季はチャンピオン候補の 1 人となりました。

湊選手も車両変更でしたが、ドライビングと今回の車両の特性がマッチしていたようです。予選ではアタックラップで接触してしまい十分なタイムを残すことができませんでした。決勝では 11 ポジションアップということで彼本来の速さを発揮できたと思います。また、土曜日のウェット走行では他車が追従できない異次元の速さで走行していましたので、基礎技術は全国トップレベルと感じています。マシンをはじめ様々な状況が変わった中でも彼本来の実力を出してくれました。彼も来年は優勝候補の 1 人だと思います。

太田選手に関しては、アルビレックスレーシングチームのエースとして 36 号車に乗ってもらいました。車両本来の性能を引き出すのに長けていたドライバーでしたが、土曜日のドライセッティングを試すセッションでウェットとなり、もう 2 段階上の性能を引き出す予定が狂ってしまい、あとコンマ 5 秒上げることが難しかったです。しかし、荒れた決勝の中、冷静に対応し 11 ポジションアップを果たし見事入賞しました。表彰台まであと 1 つだったのですが、予選のポジションから見ると充分対応したと思います。

総じて、3 人のドライバーを起用したことはチームとして間違いじゃなく、昨年の全国 5 位から 4 位へと着実に前進することができました。また、各シリーズでもポイント獲得や表彰台に上がることができたので選手のレベルアップを果たすことができました。今回の日本一決定戦では南は九州、北は東北からトップドライバーが集結した中で、東日本勢ではトップとなる成績を上げることができました。来年は日本一になるよう選手・スタッフ一丸となり精進して参ります。本年度多大なるご支援を頂き誠に有難うございました。









- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース



2012 S-FJ & F4 日本一決定戦



S-FJ & F4 MASTERS RACE in MOTEGI 12.2 sun

S-FJ&F4 MASTERS RACE in MOTEGI
2012 S-FJ&F4日本一決定戦
S-FJ

№26

2012-12-02 16:45
WEATHER: Cloudy
COURSE: Dry
Road Course 4.801379Km

ファイナル 正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best	Lap	Car Name/Team
1	56	元嶋 佑弥	MYST KKS II	10	25'08.156	114.61km/h		2'03.389	9/10	真都利動機ミストM尾川KK-S II
2	70	宇井 健剛	R&D 10V	10	25'12.149	3.993	3.993	2'03.950	10/10	TeamNaoki-Leon-10V
3	60	飯田 有希	MYST KKS II	10	25'14.049	5.893	1.900	2'03.585	10/10	NAVY AUTO☆ミストKKS2制動屋
4	36	太田 達也	R&D 10V	10	25'15.402	7.246	1.353	2'04.004	6/10	五三郎EDアルビート若木商会西風10V
5	57	吉田 宣弘	MYST KKS II	10	25'16.132	7.976	0.730	2'04.412	10/10	DAYTONA☆KKS-II☆エンプレス
6	62	山下 健太	R&D 10V	10	25'16.222	8.066	0.090	2'02.696	10/10	とらぎルポーセ・PFC-10V
7	61	久保 淳太郎	MYST KKS	10	25'18.992	10.836	2.770	2'04.244	10/10	ROBOT-とらぎルポーセ・KKS
8	71	松本 裕太	R&D 10V	10	25'19.942	11.786	0.950	2'04.521	9/10	TeamNaoki☆AMSOL☆10V
9	66	廣川 和希	R&D 10V	10	25'24.824	16.668	4.882	2'03.769	7/10	筑波道研Deep開口10VED
10	59	平木 湧也	MYST KKS II	10	25'25.579	17.423	0.755	2'05.372	5/10	Rnスポーツ☆ミストKKS2
11	51	福田 詩久	MYST KKS II	10	25'25.927	17.771	0.348	2'05.439	5/10	FSプロジェクト 戸田 ミストKKS II
12	31	坂口 夏月	R&D 10V	10	25'28.243	20.087	2.316	2'03.074	9/10	ART GP JAPAN 10V
13	35	湊 雅之	MYST KKS	10	25'29.989	21.833	1.746	2'04.738	9/10	アルビート五三郎Dream
14	18	黒岩 巧	MYST KKS	10	25'31.385	23.229	1.396	2'05.284	5/10	T's-IDT-ガリン・KK-S
15	96	岡崎 善衛	ZAP F109	10	25'32.761	24.805	1.376	2'04.483	10/10	太陽電機ZAP-F109ED
16	75	上別府 将司	R&D 10V	10	25'39.622	31.466	6.861	2'05.314	5/10	B-MAXイローダック10V
17	11	岸 良一	MYST KKS	10	25'42.865	34.709	3.243	2'05.882	8/10	DLP☆タツミKK-S☆アフジ&スカ
18	72	寺西 玲央	R&D 10V	10	25'43.398	35.242	0.533	2'05.011	7/10	TeamRIGHTWAY☆レプリ10V
19	81	今井 麗太	R&D 10V	10	25'43.535	35.379	0.137	2'06.862	8/10	B-MAX-ED10V
20	27	黄 度允	R&D 10V	10	25'49.505	41.349	5.970	2'05.578	6/10	ZAP SPEED DY. GoFast!
21	2	神戸 良太	R&D 10V	10	25'49.505	41.349	0.000	2'05.298	10/10	JINBUN☆中島製作所☆ZAP 10V
22	50	石澤 浩紀	R&D 10V	10	25'51.077	42.821	1.572	2'06.297	8/10	TMCウインズエボレス10VED
23	21	太田 浩	MYST KKS II	10	25'51.896	43.740	0.819	2'08.419	10/10	KOTA RACING&ミスト・セキグチ
24	16	内村 浩二	WEST07J	10	25'52.442	44.286	0.546	2'06.789	10/10	KRacアルバトロス
25	55	武方 保雄	MYST KKS	10	25'52.914	44.758	0.472	2'06.219	10/10	TMCウインズエボレス
26	7	宇都宮 辰徳	R&D 10V	10	26'00.168	52.012	7.254	2'07.526	8/10	ZAP イクシズ 10V
27	41	小林 雄太	R&D 10V	10	26'00.729	52.573	0.561	2'07.660	8/10	タイクF1SHOPシグナスTS10V
以上 規定周回数完走:										
	14	大野 悟	ZAP F109	6	17'08.688	4Laps	4Laps	2'04.852	6/6	C-A-R ZAP SPEED F109
	34	佐藤 祐希	MYST KKS	1	2'35.553	9Laps	5Laps			アルビートとらぎルポーセ・KK-S
	58	石川 京侍	MYST KKS II	0		10Laps	1Lap			Rnスポーツ☆TWS☆KKS II ☆制動屋
	1	湯澤 翔平	R&D 10V	0		10Laps				ZAP S-city10VED
	63	小河 諒	MYST KKS II	0		10Laps				とらぎルポーセ・PFC-KK-S II
	32	石坂 瑞基	R&D 10V	0		10Laps				ART GP JAPAN
	43	林 周平	R&D 10V	0		10Laps				お好み焼通とん堀☆ライクファースト

開始時刻: 14:55'05 終了時刻: 15:20'13

BEST TIME No. 62 山下 健太 とらぎルポーセ・PFC-10V 2'02.696 10/10 140.88km/h
規定周回数 7

※1コーナー停止車両回収のため、1周目から3周回、セーフティカーを導入した。

PENALTY

No. 31 [裁定時刻 15:52]

2012年12月2日モテギ四輪一般競技規則 付則-1 7. (SC中の追い越し) により、競技結果に20秒加算の罰則を課した。
(25'08.243+20秒)

審査委員長: 成島 弘

競技長: 高谷 克実

計時委員長: 山賀 賢史